

# 浜田城周辺整備基本方針（城山公園整備）

この基本方針(案)は、浜田城周辺整備の全体概要及び城山公園整備の詳細を掲載しています。



浜田城天守CG（復元：三浦正幸 制作：株式会社エス）

## 目次

1. 浜田城周辺整備のねらい・基本的な考え方	1
2. 浜田城周辺整備に係るゾーニング	2
<b>&lt;城山公園の整備方針&gt;</b>	
1. 機能の抽出	4
2-1. 城山エリアの整備方針	
動線の現状と利用動線の考え方	5
2-2. 城山エリアの整備方針	
整備方針と整備内容	6
3-1. 城山エリアの整備イメージ	
園路、安全柵、サイン、植栽	7
3-2. 城山エリアの整備イメージ	
眺望確保	8
4. 城山エリアの樹木活用イメージ(植栽計画)	9
5. 城山公園整備に係るスケジュール及び整備事業費	10
6. 城山公園整備の今後の課題等	11
<b>&lt;(仮称)浜田歴史神楽資料館の整備方針&gt;</b>	
1. 機能の抽出	13

# 1. 浜田城周辺整備のねらい・基本的な考え方

## 浜田城周辺整備のねらい

### 1 歴史文化の保存と継承

浜田城の遺構の保存・復元を目指すとともに、“ふるさと・浜田”の歴史・風土・文化を継承していく場として整備する。

### 2 学習・憩いの場

市民がふるさとの歴史・文化を学び、また、自然に触れて憩い、健康づくりや交流ができる場として整備する。

### 3 教育・観光・交流の拠点

浜田城周辺を、浜田の歴史・文化を発信する教育の拠点とする。

また、多くの市民や観光客がここを訪れ、近隣の「食・遊・泊」施設などと連携して、市内に人の流れを生み出す観光・交流の拠点とする。



## 浜田城周辺整備の基本的な考え方

### 1 浜田市全体の歴史文化ゾーンとしての整備

- 浜田城や御便殿の利活用促進
- 浜田藩・津和野藩を始め、市内の歴史文化の集積・紹介
- 浜田の歴史・城山・石見神楽による魅力の向上

### 2 城山公園の魅力アップのための整備

#### (1) 浜田城の史跡を保存し、活用する

- 史跡を壊さず、丁寧な発掘調査等で史跡を保存
- 近代に入り、新たに手が加えられた箇所を検証
- 浜田城に関する学術的調査・研究の推進

#### (2) 自然環境を保全し、活用する

- 自然環境の保護と保全活動の推進
- 植生の調査研究と城山の森の保全(巨樹・サクラ・ツバキ等)

#### (3) 市民に親しまれる森を目指し、防災面にも配慮する

- 森のレクリエーション機能の強化
- 市民との協働による城山環境の整備
- 市民参加による城山の森の保全
- 津波等に対する高台への避難路としての園路利用

■ 遠足



■ 保全活動



### 3 ふるさと郷育・人材育成の場としての整備

- 地域を学び、自然を愛し、郷土を愛する心の育成の場
- 教育機関と連携した体験・学習の場

■ 歴史・文化学習



■ 生涯学習



### 4 市民や観光客が集うエリアとしての整備

#### (1) 観光・交流の拠点性を発揮する

- 既存の観光、物産、交通、宿泊施設、地元商店街などとの連携
- 地域資源を繋ぎ、物語性を持たせた散策・観光ルートづくり
- ガイド機能の整備など来訪者へのおもてなしの実践
- 各種イベント・講座など市民活動を通じた交流の促進

■ 浜田城周辺の地域資源



■ イベント



#### (2) 地域や他の自治体と連携する

- 地域のNPO法人、ボランティア団体等との連携
- 県西部の周辺市町等と連携した広域観光圏・ルートの形成
- 公共交通網の整備等による人の流れる仕組みづくり

## 活用する地域資源



浜田城跡



御便殿



文化財



石見神楽



自然豊かな城山

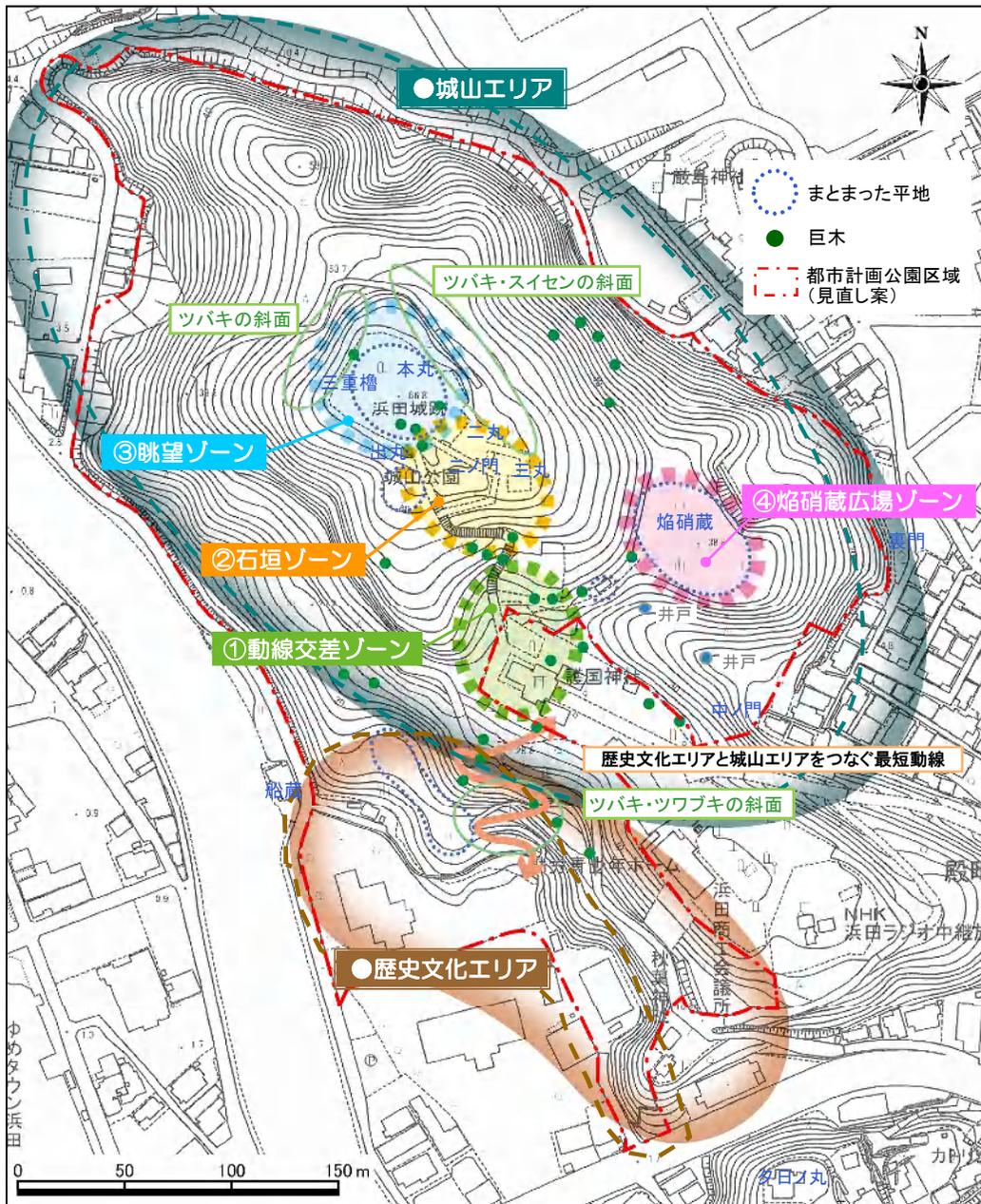


城山からの眺望

## 2. 浜田城周辺整備に係るゾーニング

### 整備区域の 現況評価

- 整備区域は風格を感じる巨木に覆われた古城の森、ツバキが自生する市街地内の身近な森、桜の名所として評価できる。
  - 整備区域は、浜田城が所在する『城山エリア』と、御便殿を中心とした『歴史文化エリア』に区分される。
  - 『城山エリア』は、4つのゾーンを拠点とした活用展開が望まれる。
- 【問題点】 国道9号からのアクセスが悪い。駐車場、トイレが無い。



### ●城山エリア

#### ①動線交差ゾーン

【評 価】 美しい景観を有し、各動線が交差するゾーン

【問題点】 特になし。



#### ②石垣ゾーン

【評 価】 古城の趣を感じるゾーン

【問題点】 出丸の石垣の活用が望まれる。出丸の平場が活かされていない。石階段が壊れやすくなっている。



#### ③眺望ゾーン

【評 価】 美しい入江や日本海、市街地が眺望できるゾーン

【問題点】 ガケからの転落が懸念される。樹木により、かつての眺望が遮られている。



#### ④焰硝蔵広場ゾーン

【評 価】 焰硝蔵跡の平地空間が広がるゾーン

【問題点】 地盤が固い等のため、植栽された桜の生育が悪い。



#### 歴史文化エリアと城山エリアをつなぐ最短動線

【問題点】 メイン動線として歩行性の改善が必要である。



### ●風格を感じる巨木に覆われた古城の森



### ■ツバキなどの多種多様な植物群生



### ●歴史文化エリア

【評 価】 歴史的建造物「御便殿」を主とするエリア

【問題点】 御便殿を活用した歴史拠点の機能強化が必要。進入路や駐車場が未整備である。隣接する桜、背後の山地を含めた活用が必要。



# 城山公園の整備方針

# 1. 機能の抽出

## 城山：浜田城の歴史・自然

### 浜田の歴史探索と自然とのふれあいを通じた憩いの場の創出



### 【城山の構想】

#### 歴史・自然にふれる城山

- 浜田城の歴史や自然にふれることのできる施設
- 子どもたちや市民、団体が自然環境の保護・保全活動等ができる施設

### 【城山の機能】

**歴史学習の場**  
案内板の設置や散策路の整備による利用促進



**展望の場**  
城山からの眺望を活かした空間



**市民憩いの場**  
遠足や祭り、健康づくり



**観光資源の創出**  
浜田城を活かした観光資源の創出



**環境保全**  
市民との協働による活動  
公園の維持管理

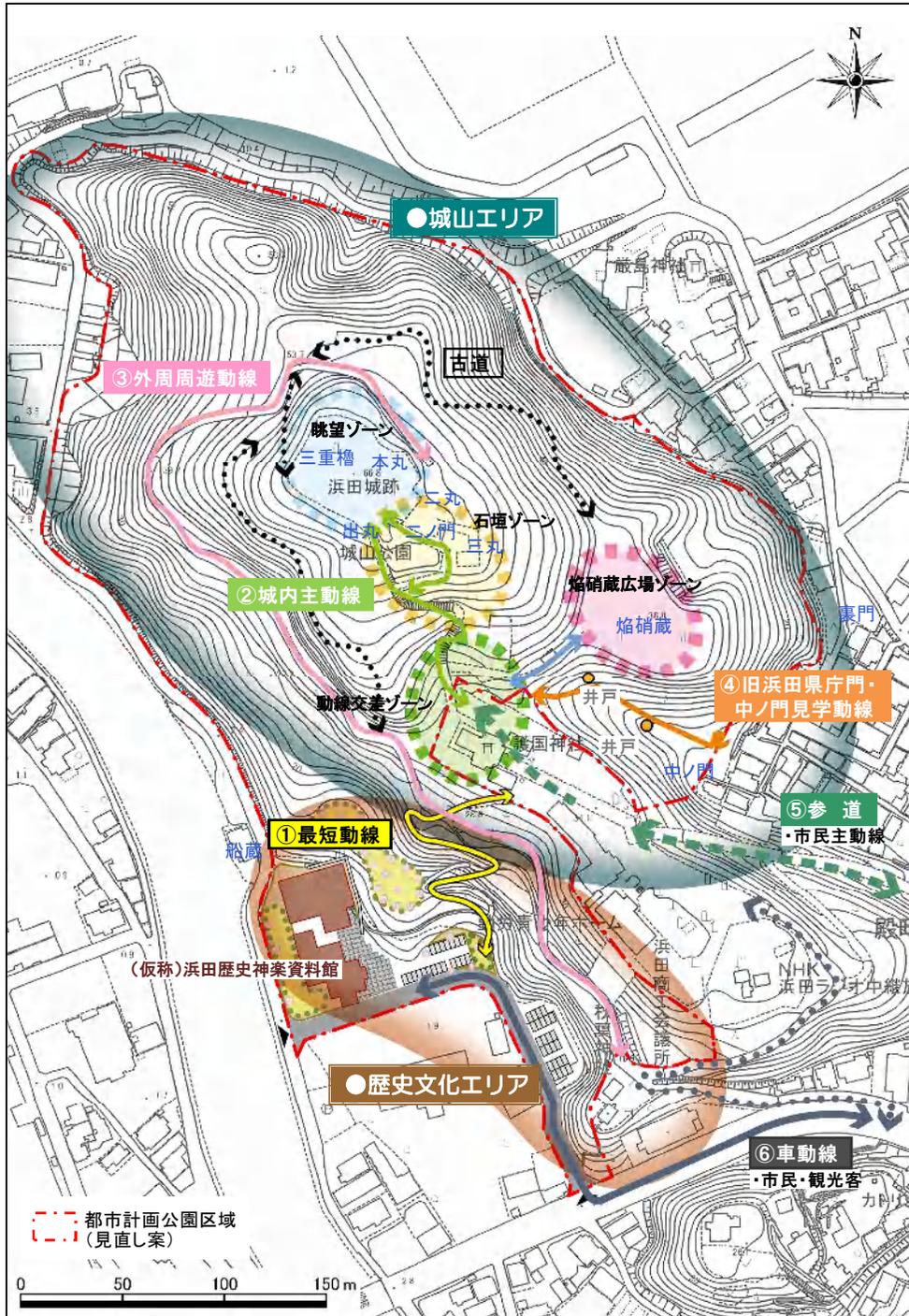


**サポート活動**  
**人材育成**  
環境保全活動の人材の育成  
案内ガイド等の育成、講習会



# 2-1. 城山エリアの整備方針

## ■ 動線の現状と利用動線の考え方



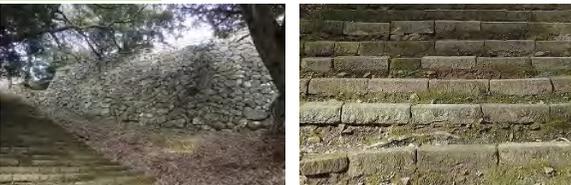
### 【動線の現状評価】

- ①歴史文化エリアと動線交差ゾーンをつなぐ最短動線は未整備であり、歩行の快適性・安全性に問題がある。
- ②二丸・三丸・出丸を周遊できる城内主動線は、一部階段の崩れや路面の陥没など改善の緊急性は高い。
- ③管理用通路も兼ねる外周周遊動線は、二丸に上がる終点部分が未整備である。
- ④旧浜田県庁門や、井戸などを見学したり、動線交差ゾーン等をつなぐ園路が未整備である。
- ⑤参道は特に問題なし。
- ⑥車動線は、カーブが急で、狭あいである。

### ①最短動線



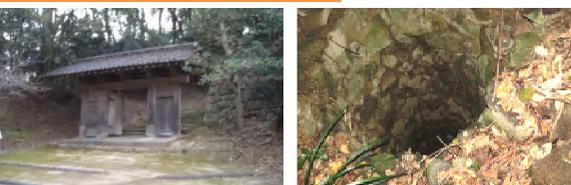
### ②城内主動線



### ③外周周遊動線



### ④旧浜田県庁門・中ノ門見学動線



### 【利用動線の考え方】

#### 周遊コースA

(仮称)浜田歴史神楽資料館を起点に城の趣を堪能するコース  
 (仮称)浜田歴史神楽資料館一門→三丸→二丸→本丸→出丸  
 →(仮称)浜田歴史神楽資料館

#### 周遊コースB

周遊コースAに加え巨木の森の自然を堪能するコース



# 2-2. 城山エリアの整備方針

## ■整備方針と整備内容

### 整備課題

1. 進入路や駐車場を整備する必要がある。
2. 出丸の石垣の活用等により、古城の特徴を最大限活かす必要がある。
3. 快適で安全な歩行性確保のための園路整備が必要である。
4. ガケからの転落防止対策が必要である。
5. 来訪者の利便性向上に向けて道標等の整備を行う必要がある。

### 整備方針

1. 浜田市や神楽を目的地に訪れる観光客・市民の利便性向上に向けて進入路・駐車場・園路等を整備する。園路は津波等災害時の高台への避難路としての機能も持たせる。
2. 城山の魅力向上に向けて石垣や階段などを保全・修復するとともに、旧浜田県庁門・中ノ門等の活用を図る整備を行う。なお、石垣等の復元については、国指定史跡を目指し、その後、順次行っていくこととする。
3. 観光客・市民の安全で快適な利用に必要な、安全柵・サイン・トイレ等の整備、魅力向上のための植栽を行う。

### 整備内容

#### 整備方針 1

施設名	内容
① 進入路、交差点改良	W6.5m+歩道2.0m L=215m アスファルト舗装 A=2,000m <sup>2</sup>
② 駐車場 (20台)	アスファルト舗装 A=700m <sup>2</sup>
③ 駐車場 (30台)	アスファルト舗装 A=1,000m <sup>2</sup>
園路整備	
④ 園路(最短動線)	自然色舗装 L=230m 平均幅員3m(見込み)
⑤ 外周管理道	路盤工 L=550m

#### 整備方針 2

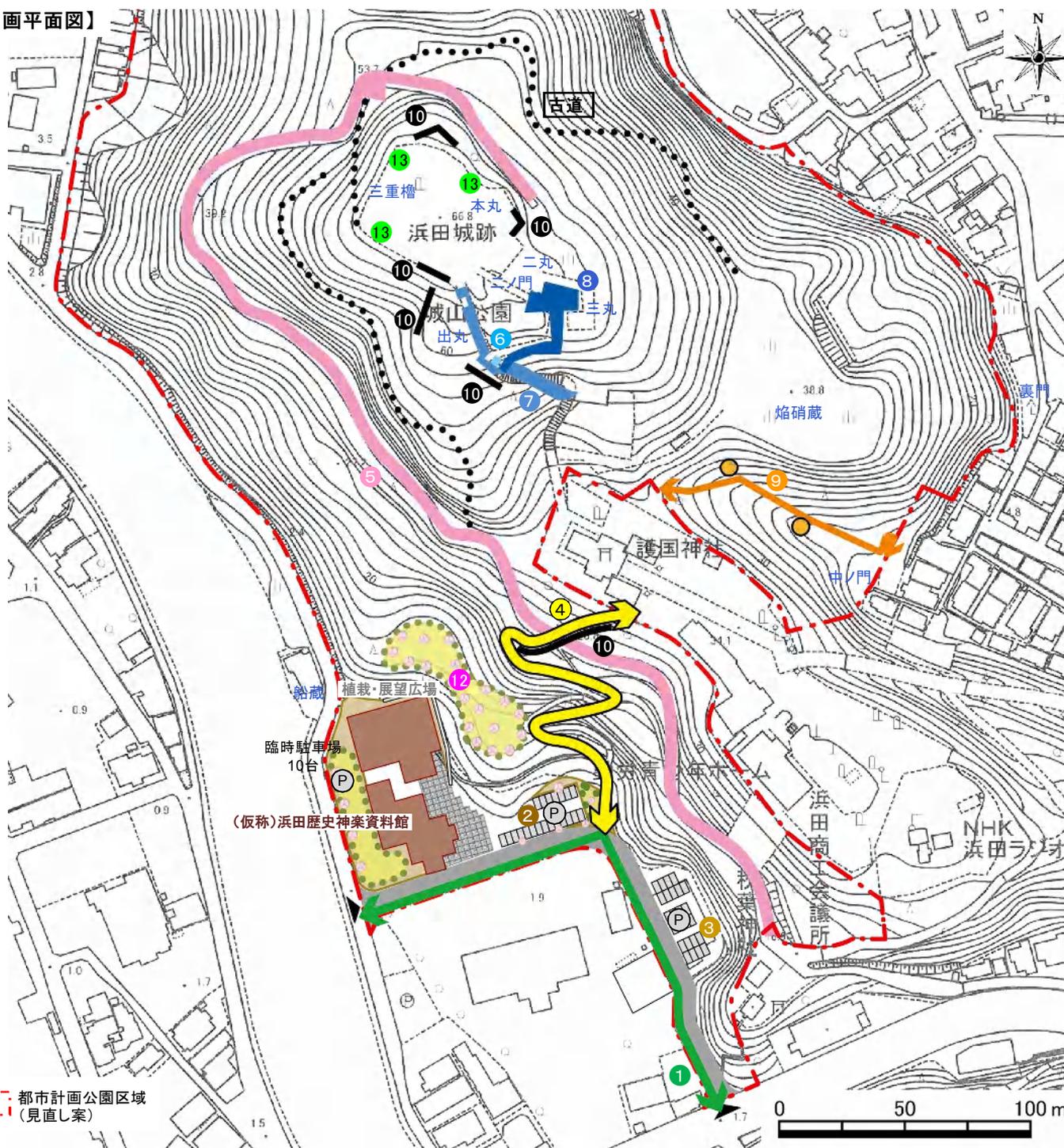
施設名	内容
石垣・階段・広場等整備	
⑥ 石垣	保護整備
⑦ 階段	セメント固化舗装 A=300m <sup>2</sup>
⑧ 広場舗装	セメント固化舗装 A=500m <sup>2</sup>
⑨ 旧浜田県庁門・中ノ門 見学動線整備	セメント固化舗装 L=155m 平均幅員2m(見込み)

#### 整備方針 3

施設名	内容
⑩ 安全柵	転落防止柵 h=1.5m 再生複合木材
⑪ サイン(道標・案内・ 解説・道路標識)	道標・案内・解説サイン 再生複合木材 道路標識 F型
⑫ 植栽	桜等の植栽、客土・土壌改良
⑬ 眺望確保	樹木の伐採

※トイレ・古道整備については、今後の課題等として、本資料11ページ参照

【計画平面図】



# 3-1. 城山エリアの整備イメージ

\* 散策路は、現況を最大限に活用しつつ、安全面や周遊性の向上に不可欠な箇所の整備を行い、市民との協働により管理・活用する。

## ④ 園路整備（園路（最短動線）・階段）

・管理車両を考慮する急勾配区間

【整備イメージCG】



・主動線としての現状利用に支障がある区間



・急勾配区間



## ⑧ ニノ門広場整備



●出丸石垣活用



## ⑩ 安全柵の整備イメージ



## ⑪ サインの整備イメージ

●道標



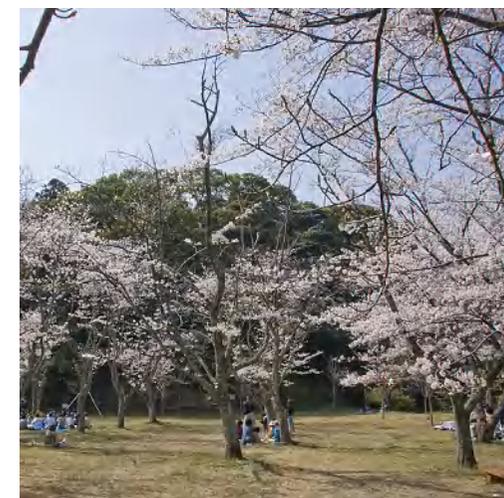
●解説



●案内

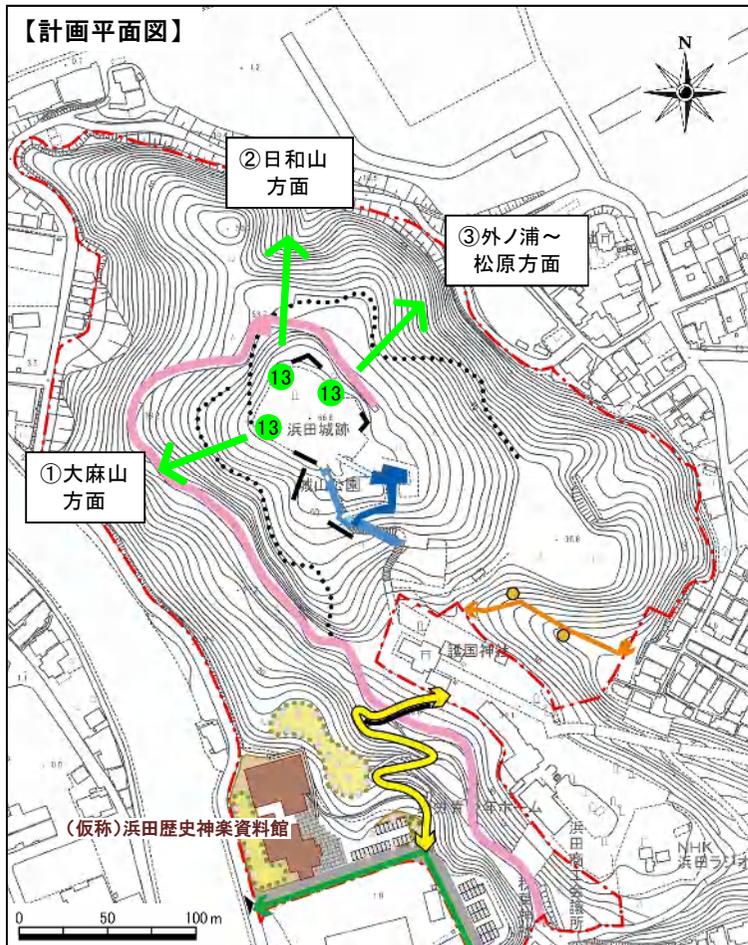


## ⑫ 植栽（桜広場等）の整備イメージ



# 3-2. 城山エリアの整備イメージ

## ⑬ 眺望確保（樹木の伐採）のイメージ



## 4. 城山エリアの樹木活用イメージ(植栽計画)



### ●概要

浜田城山は、シイ、タブ、クス等の巨樹(幹周り3m以上)が81本、大木(幹周り2m以上)が148本の合計229本の樹木がある「巨樹の森」である。また、ツバキも2,300本以上ある。

これらで構成される照葉樹林が、市街地において、江戸時代のまま今日まで残されてきたという大きな特徴がある。

### ●活用計画の基本

- ① 石垣等の城郭遺構のエリアと樹木活用エリアに区分
- ② 巨樹、大木の活用において、容易に散策できるよう緩やかな傾斜地を選定

### ●具体的な活用エリア

- ① シイ・タブ・ツバキの森  
シイ、タブの巨樹、大木と樹高の低いツバキが広がる典型的な照葉樹林を散策する。
- ② 巨樹の森(木霊の道)  
現有の古道や外周管理道を利用し、巨樹、大木やツバキの中を散策する。
- ③ クスの森  
クスの巨樹や大木が集中する中を散策する。
- ④ サクラ・ツツジの谷  
焰硝蔵跡のサクラは古木化し、土壌も悪いため、新たにエリアを定めて植栽する。

## 5. 城山公園整備に係るスケジュール及び整備事業費

### ■整備スケジュール

整備内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
進入路・駐車場整備	発掘調査・調査設計・移転補償	用地買収・工事	工事	開府 400 年
散策路等整備	発掘調査・調査設計・伐採	発掘調査・工事・伐採	工事・伐採	

### ■整備事業費

単位：百万円

整備内容		事業費合計	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
進入路・駐車場整備	調査設計費	21	21			
	発掘調査費	7	7			
	移転補償費	10	10			
	用地費	80		80		
	工事費	210		163	37	10
	合計	328	38	243	37	10
散策路等整備	調査設計費	10	10			
	発掘調査費	8	4	4		
	工事費(伐採を含む。)	90	10	24	45	11
	合計	108	24	28	45	11
総計		<b>436</b>	62	271	82	21

※ 当該事業の財源内訳 国庫補助金(都市公園事業費補助) + 過疎債 + 一般財源

**市の実質負担額 95百万円**

※ 当該額は、国庫補助金(都市公園事業費補助)等の採択状況により、変動する可能性があります。

# 6. 城山公園整備の今後の課題等

## ■今後の課題等

現整備計画に含まれていない事業として、次の事項を検討します。

### 1. 公衆トイレの整備

青少年ホーム、護国神社付近の平地における公園利用者のためのトイレの整備

### 2. 現有古道の整備（平成31年度以後）

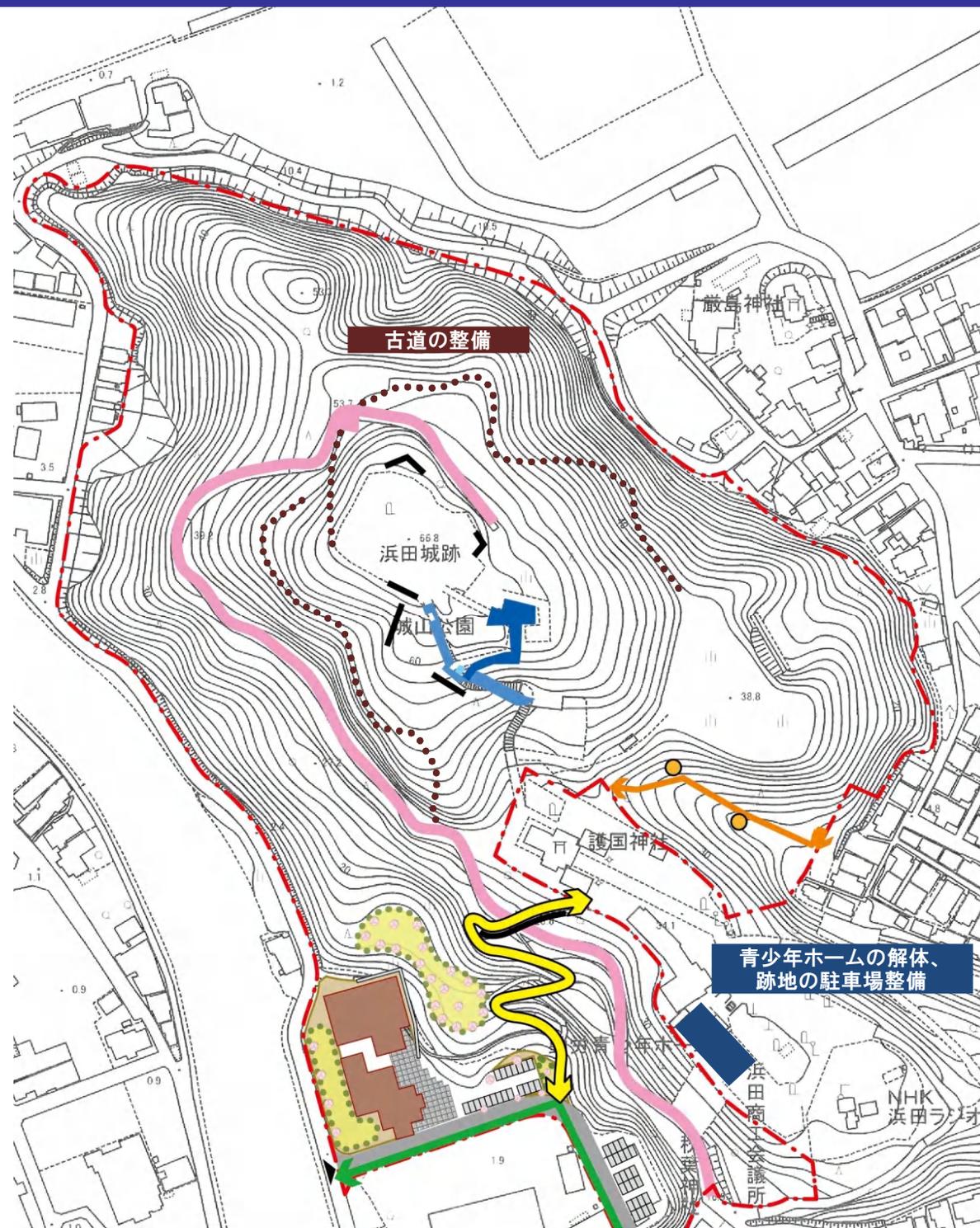
来訪者が巨樹、ツバキの中を安全に散策するための古道の整備

### 3. 駐車場の整備

((仮称)浜田歴史神楽資料館整備に併せて検討)

老朽化した青少年ホームの解体等による公園利用者のための駐車場の整備

※ これらの整備に係る事業費は、本資料10ページの整備事業費に含まれておりません。



# (仮称)浜田歴史神楽資料館の整備方針

(仮称)浜田歴史神楽資料館の整備方針については、現行案では機能のみを掲載しています。  
今後も引き続き、その機能、規模、立地等の検討を行い、別途、整備方針を作成します。

---

# 1. 機能の抽出

## 歴史・神楽：（仮称）浜田歴史神楽資料館・城山

### 浜田の歴史と文化の紹介・発信



### 【（仮称）浜田歴史神楽資料館の構想】

#### 歴史・風土を探求する施設

- 市民、子どもが浜田市の歴史に接し、  
「ふるさと浜田」の誇りと郷土愛を醸成する施設・・・市民に寄与
- 浜田の過去、現在、未来を繋ぐ施設・・・地域文化の振興に寄与
- 浜田の良さを体感できる施設・・・観光に寄与

#### 浜田城の歴史展示



#### 浜田の歴史 全般展示



#### 郷土の偉人・ 産業文化の展示



#### 展示活動を支える 収集・保管 調査・研究



#### 神楽文化の紹介 衣装・面・楽器の展示



#### 歴史的建築物 御便殿の紹介



#### ふるさと郷育



#### 学習・交流の場 (多目的ホール)

